

## 日立労働基準監督署が 災害防止団体連絡会議を開催しました

令和6年5月22日

日立労働基準監督署（署長 大久保一樹）は、令和6年5月22日に日立地区産業支援センター（日立市西成沢町2-20-1）において、令和6年度 災害防止団体連絡会議を開催しました。

会議冒頭、日立労働基準監督署長は、労働災害発生状況に触れ、労働災害防止に向けた継続的な取り組みの必要性について呼びかけ

たほか、令和6年4月より施行された時間外労働の上限規制について、対象となる関係事業者が適切に対応するためには、荷主や発注者の立場となりうる事業者による配慮が必須であることを呼びかけ、働き方支援センター等の活用も含めた実効的な対応を求めました。



（署長による挨拶）



（会議の様子）

日立労働基準監督署では、引き続き労働災害防止に向けた周知・啓発に努めてまいります。

会議では、各団体の取組について発表があったほか、当署職員が第14次労働災害防止計画（以下、「14次防」という）の重点項目等に関して説明しました。

会議最後には14次防の内容も踏まえ、各団体より具体的な事例等が共有され、今後の取組課題について検討し、労働災害防止に向けた実効的な取組の必要性についての議論がなされました。